※令和４年度以降入学生用

学校番号	２００３

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)立体造形	単位数	１単位	年次	３年次 後期
使用教科書							
副教材等	プリント教材ほか						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

立体的・造形的な物の見方・捉え方を身に着けます。
主に立体作品を制作します。私たちの身の回りの社会に息づく美術文化について、造形的な視点で思考し、自ら主題を生成し創作活動を行うことで、豊かな思考力・表現力を養います。
材料費の徴収があります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】素材の特性や道具の扱い、３次元でのもののとらえ方や見方、また社会や文化における造形作品のなりたちや役割を知り、意図に応じて生かすとともに、生活や感情にもたらす効果や造形的な特徴などを考慮し、表現方法を工夫し主題を追求して創造的に表す。
【思考力、判断力、表現力等】目的や条件、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構造について考え、創造的な造形表現の構想を練る。
【学びに向かう力、人間性等】　主体的に目的や条件、自らの感性や思考などを基にした表現の創造活動に取り組み、完成させようとする。
主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて思索し自らの感じ方や見方を深める鑑賞活動に取り組もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・粘土や和紙張り子といった素材ごとの特性や扱い方を知り、それぞれの特性に合った道具の扱いを身に着ける。 ・あかりの造形や陶芸等の各分野において、その文化的背景を学び、理解を深める。 ・造形的な視点に基づいて用途に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	・造形的なよさや美しさについて考え、表現の意図と創意工夫、社会的・個人的な価値の創出といった視点を持ち、自ら主題を生成する。 ・造形的に発想し構想を練り価値意識をもって彫塑作品やあかりの造形等の文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。	・主体的に造形の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり造形を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、彫刻や建築といった造形芸術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に着ける。 課題の提出状況において十分に主体性が認められる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	彫塑作品制作等	粘土等による 立体造形作品制作	a:三次元での物の捉え方・見方を知り、表現に生かす。粘土素材の特性・多様な加工法などについて知り、身に着ける b:彫塑等の造形的なよさや美しさを知り、社会や文化とのかかわりを理解し、自ら主題を生成する。粘土等素材の特性をよく理解しアイデアを練り、用途に合わせたデザインを考案する 自らの感性を生かし、造形計画を立て、自分なりの価値の創出をめざす c:相互評価やグループワークを通して意見交換を行い、各自の創作表現を深める 粘り強く取り組み、細部まで高い完成度をめざす	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物
	あかりの造形等	張り子技法による あかり等立体造形作品制作	a: 張り子やあかりの造形等について理解を深め、制作計画を立てる。和紙等素材の特性・多様な加工法などについて知り、身に着ける b:あかりの造形等について自ら主題を生成し、アイデアを練り、社会的・文化的役割を考慮しデザインを考案する 自らの感性を生かし、造形的なよさや美しさの創出をめざす c:相互評価やグループワークを通して意見交換を行い、各自の創作表現を深める 粘り強く取り組み、細部まで高い完成度をめざす。	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度